

三芳合金工業とIHI

# 日本機械学会から表彰

## 高耐久の軸受用銅合金研究で

銅合金の鑄造・鍛造 氏)がIHIと共同で品メーカー三芳合金工業(本社・埼玉県三芳町、社長・萩野源次郎)が日本機械学会から表彰された。対象テーマ

は耐久性の高い軸受用銅合金の開発に向けた「高速すべり軸受用銅合金の耐焼付き性に及ぼす添加元素の影響」。同学会機械材料・材料加工部門における部門一般表彰(新技術開発部門)を受けた。

研究はターボチャージャーに使用する、すべり軸受けを想定して行ったもの。秒速1000分の高速条件で摩擦を受ける軸受けでの使用に関して、黄銅材料への各種添加元素が耐焼付き性に及ぼす影響を検証した。

両社は実験を重ねながらリンやマンガンを添加した三元系の黄銅は良好な耐焼付き性を示し、アルミやマンガンをシリコンを添加した黄銅の耐焼付き性は単純な二元系黄銅よりも低いことを明らかにした。

研究は2年にわたって行われ、主に三芳合金工業は材料の配合・試作・提案を、IHIは高速条件下での評価・検証を担当した。萩野社長は今回の表彰について「一般的な素材の特性を添加元素で高めるテーマの切り口や、応用分野が将来的に広がる可能性などが評価されたのでは」と話している。

鉄鋼新聞 2020年6月18日